

統計ニュース

《国内・国際》

8/8 12年度の食料自給率39% 微増も過去3番目の低さ

農林水産省は8日、2012年度のカロリーベースの食料自給率が39%となり、3年連続で横ばいだったと発表した。小数点以下までみると12年度は38.8%で、11年度の38.6%と比べ微増だが、過去3番目に低い水準。主食用米の価格が高止まりし、需要が減少したことが響いた。20年度に50%まで高めるとする政府目標達成への道筋は見通せない状況だ。重量ベースで算出される品目別の自給率では、小麦が12%、大豆が8%と前年度比1ポイントずつ上昇。東日本大震災の影響で11年度に落ち込んだ海藻類が6ポイント増の68%に回復した。牛乳・乳製品は65%で横ばいだったが、輸入飼料の使用比率が高まったため、飼料自給率を加味した値では1ポイント減の27%となった。

8/11 18年ぶり、「生活に満足」70%超す 内閣府の世論調査

内閣府が10日付で発表した「国民生活に関する世論調査」によると、現在の生活に「満足」していると回答した人は昨年6～7月実施の前回調査から3.7ポイント増え、71.0%に上った。70%を超えるのは1995年調査の72.7%以来、18年ぶり。「不満」は前回は4.4ポイント下回る27.6%だった。生活満足度を分野ごとに尋ねたところ、資産・貯蓄面で「満足」と答えた人は42.5%と前回より5.1ポイント増加した。「不満」は6.3ポイント減少して53.7%だった。所得・収入面でも「満足」が3.7ポイント増の47.9%で、「不満」は4.5ポイント減の49.8%だった。ただ、昨年と比べて生活が「向上している」と回答したのは4.9%にとどまった。「低下している」は16.8%、「同じようなもの」は77.8%。調査は6月に全国の成人男女1万人を対象に実施した。回答率は60.8%だった。

8/22 月間訪日客、初の100万人超

7月に日本を訪れた外国人旅行者が推計で1カ月としては過去最高となる100万3千人だったことが21日、政府観光局のまとめで分かった。これまでの月間の最高は今年4月の92万3千人で、初めて100万人を超えた。観光局は、7月から東南アジア諸国の旅行者に対する査証（ビザ）発給要件が緩和されたことが追い風になったとしている。国・地域別で見ると、韓国が24万4千人（前年同月比28.6%増）で最も多く、次いで台湾が23万8500人（48.7%増）だった。伸び率ではタイの84.7%増の3万2000人が目立った。

8/29 日本の人口26万人減 65歳以上が初めて3000万人超す

総務省が28日発表した2013年3月末時点の住民基本台帳に基づく人口動態調査によると、全国の日本人の人口は前年同期より26万6004人（0.21%）少ない1億2639万3679人と4年連続で減少した。出生数が死亡者数を下回る「自然減」が6年連続で拡大したことが主な要因となった。65歳以上は人口動態調査では初めて3千万人を突破した。14歳以下は過去最少の1660万人となり、少子高齢化に歯止めがかからない状況だ。今回から初めて調査対象となった外国人の人口は198万2000人で、日本人と合わせた総人口は1億2837万3879人だった。2012年度の日本人の出生数は5年連続で減り、102万9433人と過去最少を更新。死亡者数は125万5551人と12年ぶりに減少したが、過去最大の22万6118人の自然減となった。海外転勤などで国内の人口が減る「社会減」は3万9886人だった。人口が減少したのは39道府県。人口が増加したのは宮城、埼玉、東京、神奈川、愛知、滋賀、福岡、沖縄の8都県。

《県内》

8/8 学校耐震化 県内公立、3年連続全国ワースト2

文部科学省が7日発表した公立学校施設の耐震改修状況調査によると、山口県内の公立学校の耐震化率は小中学校74.8%（前年度比5.8ポイント上昇）、幼稚園47.3%（同1.8ポイント上昇）でいずれも前年度を上回ったものの、全国順位はともに46位で3年連続のワースト2位にとどまった。全国平均と比べ小中学校は14.1ポイント、幼稚園は32.1ポイントそれぞれ下回り、依然として耐震化が遅れている。市町別に見ると、県内で唯一耐震化を完了した和木町が100.0%でトップ。最低は上関町の57.1%。山陽小野田市、田布施町、山口市、阿武町で90%を超えた一方、岩国市、平生町、下関市、萩市、周南市、上関町は依然として70%に達していない。高校の耐震化率は92.1%（同2.5ポイント上昇）で2年連続17位、特別支援学校は99.0%（前年度同水準）で22位となり前年度の18位から後退した。